

入賞

男女共同参画社会を目指して

東部中学校3年 澤口朋実さん

私は男女共同参画社会とはどのようなものなのか知らなかった。調べてみると、男女共同参画社会とは、ひとりひとりが豊かな人生を歩むことができ、男女が共に夢や希望を実現できる社会であることがわかった。しかし日本の2021年におけるジェンダーギャップ指数は156か国の内120位と世界の中でも低くなっている。

私が小学校の頃、運動会で、男子は騎馬戦、女子は玉入れと決まっていた。そのときの私は入り乱れて帽子を取り合う騎馬戦をやってみたかった。玉入れでは少し物足りなくて騎馬戦が羨ましかった。父や母が中高生の時代は、男子は体育で柔道や剣道を習い、女子は家庭科を習っていたそうだ。今は男子も女子も同じ授業を受けられる。男女で体格や体力の差はあっても、同じ授業を受けられるようになってきたことがうれしい。

最近では制服のスカートとズボンを選べるようになっている。始めから選択肢を奪ってしまうのではなくて、誰が何を選んでも認められるような社会に少しずつ着実に近づいているのかもしれない。ひとりひとりが無意識のうちに囚われていた偏った考え方を改め、広い心でお互いを尊重し合えるようになれば、男女が共に夢や希望を実現できる社会で豊かな人生を歩めるようになると思った。